

# 報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 30 年 10 月 18 日(木)15:30~16:30 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

## 2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

## 3. 年末年始展示イベント「いのしし」

今年で15回目を数える干支展。新年を迎える季節感をご来館の皆さまに感じていただき、歓迎の気持ちを込め展示を行います。日本だけでなく世界各地のいのししに関連した標本資料やパネル、写真等を展示して、人びとの生活や文化と深く結びつきたいのししを紹介する、みんなならではの展示です。関連イベントなども開催予定ですので、ぜひご来館ください。

会 期：12月6日(木)～2019年1月22日(火)

会 場：国立民族学博物館 ナビひろば

観覧料：一般 420円(350円)、高校・大学生 250円(200円)

中学生以下 無料

※( )は20名以上の団体料金。リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます。

— 丹羽 典生(超域フィールド科学研究部 准教授)—

## 4. みんなの映画会「映画が拓く新たなバリアフリーの世界」

[詳しくはこちら](#)

「盲ろう者(視覚と聴覚両方に障害を持つ人達)」とその家族・支援者の日常生活を丁寧に描いたドキュメンタリー映画「もうろうをいきる」を『バリアフリー版』で上映・鑑賞することによって、映像文化共有のあり方について考えます。

日 時：11月24日(土)13:30~16:30(開場 13:00)

会 場：ホテル阪急エキスポパーク

多目的ホール(オービットホール)

定 員：400名(先着順/事前申込不要(整理券配布))

参加費：無料

※手話通訳、文字通訳あり

※映画上映は、「視覚障害者対応音声ガイド」および

「聴覚障害者対応日本語字幕」つき



映画「もうろうをいきる」より。株式会社シグロ提供

— 飯泉 菜穂子 (人類基礎理論研究部 特任教授)—

## 5. みんなく映画会「彷徨える河」(第43回みんなくワールドシネマ)

詳しくはこちら

本館では2009年度から、研究者による解説付きの上映会「みんなくワールドシネマ」を実施しています。10年目の今回は昨年を引き続き、<人類の未来>をキーワードに映画上映を展開していきます。今回はアマゾン流域の奥深いジャングルを舞台に、孤独に生きる先住民族の呪術師と、時を隔てて彼を訪ねる二人の白人探検家との出会いを、幻想的なモノクロの映像で描いたコロンビア映画「彷徨える河」を上映します。先住民の視点で描いた”秘境”をとおして、彼らの知恵や自然と人間との関係について考えます。

日時：11月4日(日)13:30~16:30(開場13:00)  
会場：ホテル阪急エキスポパーク 多目的ホール(オービットホール)  
定員：400名(先着順/事前申込不要(整理券配布))  
参加費：無料



— 園田 直子 (議長) —

## 6. 研究公演「東北の復興を願って—夢、希望、想いをこめて—」

詳しくはこちら

本館では、東日本大震災以降、三陸沿岸の郷土芸能、あるいは三陸沿岸部をテーマとしたドキュメンタリー映画の上映がおこなってきました。今回は、現在開催中の特別展「工芸継承—東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在」関連イベントとして、少しずつですが、復興の途につきつつある東北被災地のさらなる復興を願い、思いを寄せることをテーマに三陸沿岸にゆかりのあるアーティストをお招きしました。

日時：10月28日(日)13:00~16:35  
場所：国立民族学博物館 エントランスホール  
出演：濱守栄子(シンガーソングライター)  
絵美夏(ヴァイオリンシンガー)  
中澤宗幸(弦楽器製作者・修復家)  
参加費：無料  
※事前申込不要



— 日高 真吾 (人類基礎理論研究部 准教授) —

## 7. 公開フォーラム 2018「世界の博物館」

[詳しくはこちら](#)

本館では、独立行政法人国際協力機構（JICA）から委託をうけ、世界各地の博物館専門家を対象とした課題別研修「博物館学とコミュニティ開発」を実施しています。今年度は、アルメニア、エクアドル、フィジー、ジャマイカ、ヨルダン、パプアニューギニア、ソロモン諸島、スーダン、ザンビア、トルコの10ヵ国・地域から、10名を予定。この機会に、これらの国々の博物館事情に触れ、あわせて博物館の可能性を考えることを目的に、公開フォーラムを開催いたします。

日時：11月3日（土・祝）13:00～17:00

会場：国立民族学博物館 第5セミナー室

定員：70名

参加費：無料

逐次日本語通訳あり

主催：国立民族学博物館、独立行政法人 国際協力機構

※要事前申込（先着順）

※申込締切：11月1日（木）必着

定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

— 菅瀬 晶子（超域フィールド科学研究部 准教授）—

## 8. アイヌの伝統的儀式「ミンパク オッタ カムイノミ(みんぱくでのカムイノミ)」

[詳しくはこちら](#)

カムイノミとはアイヌ語でカムイ（神・霊的存在）に対して祈りを捧げる儀式です。国立民族学博物館でのカムイノミは、本館が所蔵するアイヌの標本資料の安全な保管と後世への確実な伝承を目的としています。どなたでも見学できますので、ぜひお越しください。

日時：11月8日（木）10:30～11:50

会場：国立民族学博物館 玄関前広場

（雨天の場合、古式舞踊はエントランスホールにて実施）



2017年のカムイノミのようす

— 齋藤 玲子（学術資源研究開発センター 准教授）—

## 9. 公開講演会「音楽から考える共生社会」

[詳しくはこちら](#)

排他的な考えが台頭する今日、共生は最重要課題の一つです。この講演会では、音楽が共生を実現するために果たしうる役割と可能性を探ります。

日時：11月2日(金)18:30~20:40(17:30 開場)  
会場：日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 3F)  
講師：寺田吉孝(本館 教授)  
中村美亜(九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)  
総合司会：河合洋尚(本館 准教授)  
定員：600名(先着順/要事前申込)  
参加費：無料  
手話通訳あり  
主催：国立民族学博物館、日本経済新聞社



— 寺田 吉孝(学術資源研究開発センター 教授)—

## 10. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

### 『『ホーホー』の詩、それから一知の育て方』

(信田 敏宏 著/出窓社)

— 信田 敏宏(グローバル現象研究部 教授)—

### 「Ancient Text Sources in the National Museum of Iran Vol.1 Brick Inscriptions in the National Museum of Iran - A Catalogue」 (邦題：イラン国立博物館所蔵のレンガ碑文 -資料カタログ)

(MAEKAWA Kazuya 編 MATSUSHIMA Eiko, TERAMURA Hirofumi, WATANABE Shunsuke 著  
/京都大学学術出版会)

— 寺村 裕史(人類文明誌研究部 准教授)—

## 11. 「第33回大同生命地域研究奨励賞」受賞について

[詳しくはこちら](#)

この度、本館人類文明誌研究部の齋藤晃教授が、ラテンアメリカ地域を対象とした地域研究が高く評価され、「第33回大同生命地域研究奨励賞」を受賞しました。

今回は、受賞内容と、最新の研究成果等について、ご紹介します。

— 齋藤 晃(人類文明誌研究部 教授)—

## 12. 第14回 JICA 理事長表彰について

---

この度、長年の本館の JICA 事業への協力に対し、JICA 理事長表彰を賜りました。  
表彰式の様子や、本館と JICA との連携事業の概要等について、ご紹介します。

— 園田 直子 (議長)—

## 13. 新任紹介

---

「人文知コミュニケーター」として着任しました。学術と社会の双方向的なコミュニケーションを目指します。

個人の研究では、シベリア少数民族のトナカイ牧畜と漁撈の関係、極北環境変化と人類をテーマにしています。



— 大石 侑香 (学術資源研究開発センター 特任助教)—

※その他の配布資料  
外来研究員受入一覧(資料9)、